

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		070316		松原学園運営事業		担当部課	部課コード	070300	2990 - 3488
事業コード		070316		松原学園運営事業		担当部課	こども福祉課 (松原学園)		
開始年度		昭和 46 年度		終了年度		年度	グループ 松原学園管理・指導・地域支援G		
事業の概要	事業の種類別	自治事務		法定受託事務		法定受託 + 附加		根拠法令	
	分野別計画・指針	所沢市子ども・子育て支援事業計画							
	関連・類似事業	児童福祉法・所沢市立松原学園条例 同施行規則							
	総合計画の体系	章	健康・福祉	節	子ども支援	基本方針	子どもの育成支援の充実		
事業開始の背景	昭和44年当時、市の家庭相談室への相談内容の中で知的に遅れのある幼児に関する相談が多くあった。また、通園施設の建設についての要望もあり、これらの点を解決すべく県内2番目の通園施設として設立された。								
事業の内容	目的 (どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)								
	発達障害や発達につまづきのある児童が、小集団の中での生活やいろいろな活動を通して個々の持てる力を引き出せるよう支援する。								
	対象 (誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	40	人			
	市で通所給付決定を受けた保護者が監護する、3歳から小学校就学前までの知的障害のある児童、または精神に障害のある児童 (発達障害児を含む)。	平成 27 年度	39	人					
事業の具体的な内容及び実施方法	(内容) 学園に通園する発達障害や発達につまづきのある児童を対象として、食事や排泄、衣服の着脱やからだの使い方、友達や大人とのかかわり方など小集団の中で日常生活や社会性を高めるように支援する。 (実施方法) 日々の生活や遊び、遠足や夏祭り、親子スイミング、保育園との交流、作業療法や言語療法、音楽療法などについて、園児の個別支援計画を踏まえて年間指導計画を立てて指導する。また、保護者の相談に対し助言・援助を行う。								
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)			
	予算現額			47,882	48,103	50,743			
	決算 (見込み含む)			44,943	44,103				
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(2.00 人)	(13.00 人)	(2.00 人)	(14.00 人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。			
	正規職員人件費	14.50 人	126,455	14.55 人	126,003				
	事業費合計			171,398	170,106				
	財源内訳	一般財源			84,230	89,352	50,743		
国・県支出金									
その他 ()			87,168	80,754					
実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標		
	活動実績	園外行事実施回数	遠足の実施回数	回	1	1	1	1	
	季節行事実施回数	夏祭り、親子スイミング等の実施回数	回	30	30	30	30		
	療育支援実施回数	作業療法、言語療法、音楽療法、心理相談の実施回数	回	75	72	72	84		
成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標		
	成果指標	園児の個別支援計画における平均目標達成率	各園児の個別支援計画における目標達成率の総計 (%) ÷ 総園児数 (人) (H25より成果指標の見直しを実施)	%	目標値 100	100	100	100	
	実績			83	76	<input checked="" type="checkbox"/> 実績 拡大図る <input type="checkbox"/> 実績 縮小図る			
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	83	76	どちらかをチェックしてください		
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)				(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	地域の障害児やその家族への相談、地域の支援者への援助・助言等を行う「障害児地域生活サポート事業」を開始した。				低年齢期の園児の成長度合いを予測することは非常に難しいため。				
評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	事業実施方法 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	理由	引き続き園児への適切な支援及び地域への支援を続けていくため。			
		<input type="checkbox"/> 終了		<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他		児童発達支援センターの専門性の拡充に向けて、療育の専門家の来園日数を増やしていく予定であるため。			
備	(1)平成28年度に取り組んでいる状況				(2)今後の方向性				
	職員の専門性の向上及び支援の質の向上を目指して、園内研修を増やしている。				松原学園は、児童発達支援センターの指定を受け事業運営をしているが、平成29年1月よりこども支援センターが供用開始となり発達支援部門の事業も開始予定であるため、事業の棲み分け等について検討し、最大限の効果をえられるよう関係機関と調整を図っていく。				
評価日	H28.8.18		評価者職氏名	こども福祉課長 市来 広美					
環境影響	有益な環境影響			有害な環境影響を及ぼす原因活動	空調設備		規制を受ける環境法令等	無	
							緊急事態	無	